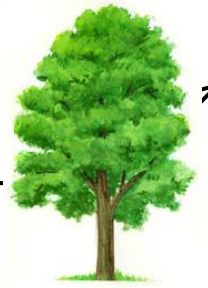




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

## 樟 蔭

令和4年1月11日(火) No.13 文責 校長 島田 二郎



### 令和4年、寅年が始まりました

令和4年を迎えました。今年は、どのような年になるでしょうか？新型コロナウイルス感染症からは少しでも開放されたいと思いつつ、今後も感染症予防対策をしていきたいと思えます。そのような状況においても、子ども達の成長のために、学校はこれからも引き続き、学びを継続していきます。



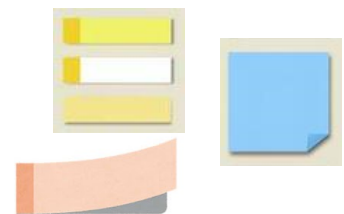
さて、新年を迎え、後期後半が始まりました。これから年度末まで、毎年のことですが、あっという間に時が過ぎていきます。よく、『1月は行く、2月は逃げる、3月は去る』とされています。学校が始まったかと思ったら、すぐに1、2、3月と過ぎていきます。3年生は卒業式までに登校する日は意外と少ないものです。その間、大事な入試もあります。1、2年生も今のクラスで過ごすのはあとわずかです。そして1学年、上の学年に進級するようになります。そう考えると、どの学年においても、これからは特に1日1日を大事に過ごしてほしいと思えます。



そこで、今日、始業の集会で生徒にした話を簡単にこちらでも紹介いたします。

『失敗』という言葉について、ネットである文章を見つけて読んだものです。便利な文具の1つに『ふせん』というものがあります。紙につけたり外したりできる、粘着型のメモです。ふせんは実は、失敗から生まれたものだそうです。ある研究者の方が強力な接着剤を開発していたのですが、失敗ばかりしていた時、偶然、良く付くけど、すぐはがれるものができました。研究者の方は、それをただの失敗と思わず、「何かに使えないかな？」と可能性を探したそうです。その後、同じ研究所の人が、教会で歌う賛美歌が書かれている本のしおりに使えるのでは？ と言ったそうです。そうして、歌いながら落ちることがないしおり、すなわちふせんが出来上がりました。

あきらめずに考え続けると、実は失敗ではなく、新たな可能性につながることもあるということです。



また、発明王と言われたエジソンの言葉に次の言葉があります。

『私は失敗などしていません。1万通りのダメな方法を見つけただけだ』

生徒の皆さんには、今年もぜひ、色々なことに挑戦してほしいと思えます。そして、仮に、それがうまくいかないことがあっても、それをすぐに失敗と思わないようにすると良いですね。目指す目的には、合わなかったかもしれませんが、他の場面や機会でも使えることもあるかもしれません。

大事なことは、『実際に行動すること』、『チャレンジして自分を成長させること』です。

太西★の皆さんには、今年をぜひそういう年にしてほしいと願っています。『失敗』ではなく、たくさんの『方法に挑戦』して、自分をさらに成長させてください。



今年の太西★のさらなる飛躍を期待します。

また、保護者、地域の皆様の太宰府西中学校へのご支援も改めてお願いいたします。

